第86回都市対抗大会　東京都二次予選

準　決　勝

2015/5/29　大田スタジアム

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
ＪＲ東日本	1	1	2	0	0	0	0	0	0				4
東京ガス	0	0	2	3	0	3	0	1	×				9

東京ガス		ＪＲ東日本
岩佐、○宮谷、山岡	投　手	●関谷、片山、東條（大）、進藤
山内	捕　手	石川、畑
山内（２ラン）	本塁打	
	三塁打	
小野田	二塁打	

東京ガス

			打	安	点	振	球
9		建部	2	0	0	1	0
H	7	小野田	2	1	2	0	0
4		小林	5	0	0	1	0
D		地引	4	1	0	2	0
3		黒田	3	1	0	1	1
8		坂井	3	1	0	0	1
7		柴山	1	0	0	1	0
H	9	濵（政）田	3	1	0	1	0
6		中山	2	2	1	0	2
5		村田	2	2	3	0	0
2		山内	3	2	3	0	0
		計	30	11	9	7	4

ＪＲ東日本

			打	安	点	振	球
		計	0	0	0	0	0

投手成績（東京ガス）

	回	打者	安	振	球	点	責
岩佐	2 1/3	16	7	1	1	4	3
宮谷	4 2/3	18	2	3	3	0	0
山岡	2	7	0	3	1	0	0

投手成績（ＪＲ東日本）

	回	打者	安	振	球	点	責

【特記事項】

準決勝の先発は岩佐。初回、二死から３本のヒットと死球で先制され、さらに二回表、内野失策から送りバントで二塁へ進めと、二死からタイムリーを浴び、０−２。また三回表、３本のヒットを放たれ０−３。ここで２番手宮谷へスイッチ。その宮谷は粘られてから犠飛を浴び、０−４と差を広げられる。打線は三回裏、７番中山がセンター前ヒットで出塁すると、９番山内がライトポール際に２ランホームランを放ち、２−４。さらに四回裏、３番地引がレフト前ヒット、４番黒田が四球、さらに５番坂井の送りバントが内野安打となり満塁。一死から７番中山が死球で３−４と１点差。また８番村田がレフト前に運び二者生還、５−４逆転。突き放したい打線は六回裏、一死から６番濵田（政）が内野安打、７番中山が三遊間ヒットで一、二塁とすると、前の打席でタイムリーを放った８番村田がレフト前に運び、６−４。続く９番山内もレフト線にタイムリーを放ち、７−４。さらに途中出場の１番小野田がライト線へ鋭い打球を放ち、８−４。八回裏にも７番中山が四球、８番村田の送りバントが悪送球となり、さらに９番山内がきっちり送りバントを決め、一死二、三塁。ここで１番小野田が犠飛を放ち、大きな１点を追加、９−４。投手陣は２番手宮谷が四回以降勢いのあるストレートを中心に無失点に抑え、八回から山岡にマウンドを譲る。その山岡は初戦完投した疲れを感じさせないピッチングを披露し、９−４で勝利。第一代表決定戦へ駒を進めた。